平成25年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月14日

上場会社名　MICS化学株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7899　URL　http://www.c-mics.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 林　隆司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　企画管理部門長　(氏名) 木田　逸夫　TEL 0561-39-1211

四半期報告書提出予定日　平成24年12月14日　配当支払開始予定日　平成25年1月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	1,301	—	10	—	19	—	△7	—
24年4月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益　25年4月期第2四半期　5百万円　(—%)　24年4月期第2四半期　—百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	△1.43	—
24年4月期第2四半期	—	—

(注)前連結会計年度の期末より連結財務諸表を作成しているため、平成24年4月期第2四半期の数値については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年4月期第2四半期	3,955	3,060	77.4	584.10
24年4月期	3,839	3,076	80.1	587.09

(参考) 自己資本　25年4月期第2四半期　3,060百万円　24年4月期　3,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年4月期	—	4.00			
25年4月期(予想)			—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 4月期の連結業績予想(平成24年 5月 1日～平成25年 4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,750	5.6	30	—	35	122.9	8	—	1.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年4月期2Q	5,850,000 株	24年4月期	5,850,000 株
② 期末自己株式数	25年4月期2Q	610,606 株	24年4月期	609,674 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年4月期2Q	5,239,652 株	24年4月期2Q	5,241,112 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に、緩やかな景気回復傾向の兆しが見られる一方、欧州債務危機等による世界経済の減速懸念や円高の長期化に加えて、チャイナリスクに代表される新興国経済の減速等から、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは「フィルミックス」シリーズの新製品群による販売拡大に努めてまいりました。食品分野、非食品分野ともに新製品群が堅調に増加した結果、売上高は13億1百万円となりました。

利益につきましては、原材料価格が高止まりに推移する中、全社あげてのコスト削減に取り組みました結果、営業利益は10百万円となりました。また、受取利息や作業くず売却益の計上も加えた経常利益は19百万円、保有している投資有価証券の減損処理により投資有価証券評価損を計上した結果、四半期純損失は7百万円となりました。

用途別の売上高につきましては、食品分野においては深絞りなど自動機対応品による新製品群の伸びが奏功し、7億96百万円となりました。

非食品分野においては、医療用途向けが、従来の安定量産品に加え、新たな商材も追加となり、更に自動車関連等の新需要拡大により、2億58百万円となりました。

商品につきましては、突き刺し強度の高いフィルム（ＳＰパック）への要求は多く好調な販売を継続していることに加え、子会社エイワファインプロセシング㈱の加工売上も拡大しており、2億45百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は24億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。これは主に仕掛品が19百万円増加したものの、現金及び預金が39百万円、受取手形及び売掛金が34百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は15億51百万円となり、前事業年度末に比べ1億73百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億97百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、39億55百万円となり、前事業年度末に比べ1億16百万円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は8億23百万円となり、前事業年度末に比べ1億39百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が55百万円、その他の内、設備未払金が79百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は71百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が3百万円、役員退職慰労引当金が2百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、8億95百万円となり、前事業年度末に比べ1億32百万円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は30億60百万円となり、前事業年度末に比べ16百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失7百万円、剰余金の配当20百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.4％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少し、6億76百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億10百万円となりました。

これはたな卸資産の増加22百万円等があったものの、減価償却費38百万円、投資有価証券評価損13百万円、売上債権の減少34百万円、仕入債務の増加55百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億34百万円となりました。

これは新工場の建築など有形固定資産の取得による支出1億41百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は23百万円となりました。

これは配当金の支払額20百万円等があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年6月13日の「平成24年4月期　決算短信」で公表いたしました連結業績予想を修正しております。修正の詳細につきましては、本日（平成24年12月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結累計期間より、米可思化学商貿（蘇州）有限公司は連結財務諸表に重要な影響を及ぼすことが明らかになったため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年５月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	716,576	676,849
受取手形及び売掛金	784,412	749,885
商品及び製品	66,492	74,796
仕掛品	17,183	37,103
原材料及び貯蔵品	38,018	32,444
関係会社短期貸付金	800,000	800,000
その他	39,710	33,499
貸倒引当金	△855	△813
流動資産合計	2,461,539	2,403,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	200,677	434,596
機械装置及び運搬具（純額）	147,332	137,621
土地	634,701	634,701
その他（純額）	96,160	69,753
有形固定資産合計	1,078,873	1,276,674
無形固定資産	279	225
投資その他の資産		
投資有価証券	244,541	237,279
その他	55,074	38,016
貸倒引当金	△1,026	△611
投資その他の資産合計	298,589	274,683
固定資産合計	1,377,741	1,551,582
資産合計	3,839,281	3,955,348

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年10月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	473,397	528,640
短期借入金	21,369	22,820
未払法人税等	6,483	9,760
賞与引当金	19,525	24,312
その他	162,980	238,119
流動負債合計	683,755	823,653
固定負債		
長期借入金	10,239	6,493
退職給付引当金	1,645	1,397
役員退職慰労引当金	50,120	47,991
資産除去債務	10,500	10,500
その他	6,498	4,973
固定負債合計	79,002	71,356
負債合計	762,757	895,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	774,000	774,000
資本剰余金	1,150,310	1,150,310
利益剰余金	1,841,047	1,812,582
自己株式	△263,150	△263,394
株主資本合計	3,502,206	3,473,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,150	△25,569
土地再評価差額金	△387,533	△387,533
為替換算調整勘定	－	△57
その他の包括利益累計額合計	△425,683	△413,160
純資産合計	3,076,523	3,060,338
負債純資産合計	3,839,281	3,955,348

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日）
売上高	1,301,012
売上原価	917,544
売上総利益	383,468
販売費及び一般管理費	372,557
営業利益	10,910
営業外収益	
受取利息	7,034
受取配当金	484
作業くず売却益	2,902
その他	3,786
営業外収益合計	14,208
営業外費用	
支払利息	279
売上割引	395
支払手数料	5,000
その他	40
営業外費用合計	5,714
経常利益	19,404
特別損失	
投資有価証券評価損	13,462
特別損失合計	13,462
税金等調整前四半期純利益	5,942
法人税、住民税及び事業税	7,095
法人税等調整額	6,350
法人税等合計	13,445
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△7,503
四半期純損失（△）	△7,503

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△7,503
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	12,580
為替換算調整勘定	△57
その他の包括利益合計	12,523
四半期包括利益	5,019
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	5,019

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,942
減価償却費	38,021
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△2,128
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,787
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△456
受取利息及び受取配当金	△7,519
支払利息	279
投資有価証券評価損益（△は益）	13,462
売上債権の増減額（△は増加）	34,526
たな卸資産の増減額（△は増加）	△22,648
仕入債務の増減額（△は減少）	55,243
未払金の増減額（△は減少）	△4,151
預り金の増減額（△は減少）	△4,218
未払消費税等の増減額（△は減少）	△9,906
その他	△3,122
小計	98,112
利息及び配当金の受取額	7,497
利息の支払額	△279
法人税等の還付額	7,729
法人税等の支払額	△2,767
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△141,492
投資有価証券の売却による収入	6,380
その他	761
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額（△は減少）	2,000
長期借入金の返済による支出	△4,295
自己株式の取得による支出	△243
配当金の支払額	△20,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△54
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△47,572
現金及び現金同等物の期首残高	716,576
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	676,849

（4）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（6）セグメント情報等
当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。